

コンサルはオリコンサルグローバルJV インドネシア パル第四橋起工

東急建設施工

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、同社を幹事会社とした2社JVがコンサルテイングサービスを担当したインドネシアの「パル第四橋再建計画」の起工式が、同

国中部スラウエシ州パル市で20日に開かれたことを明らかにした。式典にはルスディ中部スラウエシ州知事やパル市

のハディヤント市長などのほか、安井毅裕JICA（国際協力機構）インドネシア事務所長らが出席した。写真。

同事業は、2018年9月に同国スラウエシ島で発生したマグニチュード7.5の地震で崩壊したパル第四橋を日本の無償資金協力で再建する。パル川河口に架かっていた同橋はユニークな橋梁形式



パル第四橋の完成イメージ

で「黄色い橋」とも呼ばれ、空港に写真が飾られるほど地域住民に愛される存在で、崩壊による交通分断の解消も喫緊の課題となっていた。

再建されるパル第四橋は、プレストレスト・コンクリート（PC）3径間連続ラーメン箱桁橋で橋長250㍎。中央支間長を大きく確保し、変化のある桁下曲線としたことでシンボリック性に富むデザインとした。橋梁上にはバルコニーを設けて地域住民に憩いの場を提供するとともに、災害発生時の避難場所として活用できるように橋台付近に階段も設けている。

詳細設計と入札補助などのコンサルテイングサービスをオリエンタルコンサルタンツグローバル・八千代エンジニヤリングJVが担当。施工は東急建設で1日に着工している。工期は24年6月末まで。完成後は地震の多い同国に質の高いインフラを供給するとともに、パル市内の東西方向の交通を確保することで物流の改善による経済の復興・発展に寄与することが期待されている。